

上北沢 桜並木 会



通信
第27号

平成 24 年 8 月 30 日 発行

上北沢桜並木会議

連絡先 代表 石井 昭

上北沢 3-23-10 TEL3303-1524

HP <http://www.sakuranamiki.org/>

お問い合わせ : info@sakuranamiki.org



桜並木の現状

猛暑、桜並木の緑蔭を歩くとき、涼やかで何ともありがたい気持ちになります。

この桜並木の街区は、関東大震災の後に出来た郊外型分譲住宅のはしりで、世田谷区では桜新町に次ぐもの、成城の街区より



No. 16のキノコ



No. 18のコケ

も古いのです。従って、

樹齢80年を超えるものが何

本もあり、ソメイヨシノの

平均寿命60年説は俗説と

しても、キノコやコケ、コ

スカシバの幼虫などの寄生やヒコバエなど

小さな枝がたくさん出てきたり

で、樹勢が

かなり弱まっています。台風や突風などが

あれば、倒木の可能性があります。



緑蔭の桜並木



そこで桜並木会議は毎年2回、上北沢在住の石井樹木医のご指導のもとに樹木診断を行ってきました。その結果、去年は世田谷区にお願いして2本伐りました。そのうち1本は代替えを済ませ、1本は次期予算での代替えが予定されています。

世田谷区にはきめ細やかに対応頂いていますが、しかし全てを区にお任せすることは出来ません。維持の主体は住民が行わなければなりません。そのため手の届く範囲ですが、コスカシバの幼虫除去や小枝の伐採も会員で行っています。

しかし、それらの人員確保は大変困難です。年2回行っていた樹木診断を石井樹木医にご相談し、ことしからはもっとも効果的な冬の調査1回に絞ることに致しました。清掃も沿道の方々のご苦勞を考えればもっと多くの回数にしたいのですが、上北沢町会と連携させていただき何とか最小限対応している状況です。

住民活動はそれぞれが無理せず継続的に気楽に参加できることが大切です。会の運営もその様に考えていますので、ご都合の良い時に少しの時間でも構いません、ぜひ会員の皆さまのお力をお貸し戴けますようお願い申し上げます。



No. 29の伐採後



No. 42の新しい仲間



実態調査



八幡山はらっぱ広場の接ぎ木



平成 22 年 12 月に移植して以来 1 年 8 か月が過ぎました（接ぎ木をしてから 3 年半）。今年の 4 月には初めて花が咲きました。その後、アブラムシが付いたり、6 月の台風では折れるのではないかと、心配は尽きませんでした。この暑さで枯れないように交代で水遣りや周りの草取りの甲斐があっがかすくすくと育っています。

移植当初の添え木は 1 m くらいでしたが、今では添え木以上に大きくなり、区の公園管理事務所では、我々の要望を聞いていただき、新しい添え木が設置されました。3 本組の添え木で少々の雨風ではびくともしないようです。これからの台風シーズンを控え安心です。最近では、散歩途中にお水をやってくださっている方もいて、皆さんに成長を見守られ、今後も無事に育つことを願っています。

今年の秋か冬ごろに、新しくなった上北沢小学校に植え換えをさせていただくよう、現在準備中です。小学校の校庭で満開の桜が見られる日が来ることを期待しています。

移植最初の春
(H23.4.29 撮影)



桜が咲いたとき
(H24.4.20 撮影)



旧添え木の状況
(H24.7.8 撮影)



今年秋・冬
植え換え予定



新しい添え木の状況
(H24.8.13 撮影)



珍しい白化したヒコバエ



No.22（一番南側にある桜）のヒコバエには、白化した葉がついています。

石井樹木医によりますと、「白化した状態だと5年くらいが生育限度」、「桜の白化ヒコバエ調査は誰もやっていない」とのことでした。

8月28日現在、ちょっと枯れかかっています。…心配です。今後、定期的な観察を続けて行きます。



地域のお話...《将軍池公園》《松沢病院外周歩行者道路》



将軍池公園



今年の5月、世田谷区による管理下で将軍池公園が開園しました。位置的には都立松沢病院の東側周回道路の東南部分に面し面積的にも約1600坪に相当し区民の憩いの場として緑豊かな空間を提供してくれています。フェンス越ですが関東大震災を挟み延べ5年間にも及ぶ期間を経て大正15年に完成した加藤山と周りを囲む将軍池を見渡すことが出来、この時期、池に遊ぶアメンボウやアヒルも観察できます。

アジサイの季節は過ぎましたが現在はクチナシの花が咲いています。来年にはソメイヨシノ及び河津桜も美しい花を咲かせ春の訪れを知らせてくれるでしょう。8月には芝生の養生も終わり一面緑の潤いを提供してくれています。来年には広場の南側の位置に松沢病院の東側周回道路から西側の赤堤道路に通じる4メートル幅の歩道が完成する予定になっています。上北沢の自然豊かな資産として大切に見守っていきたくて願っています。



将軍池公園の全貌（南方向からの撮影）



将軍池と緑に包まれた加藤山



松沢病院外周歩行者道

松沢病院周回道路の歩道が整備されました。
おおむね、整備前よりも約倍の幅になっています。

歩行者や健康ジョギングをする人にとって、利用しやすくなっていますが、自転車を利用する人もこの歩道を走行しています。

安全のためには、自転車利用者はスピードを落とし、充分気をつけて走行して欲しいものです。

北側、右側は京王線→→→



将軍池公園付近



将軍池公園の内側



上北沢駅周辺地区まちづくり協議会

昨年度にまとめた〈街づくり提案〉は、世田谷・杉並両区長に提出されましたが、「協議会は、あと2年程度継続すべき」ということになりました。

区では、昨年度と今年度の2年間で、協議会でまとめた内容をベースとして「上北沢駅周辺地区街づくり方針策定調査」を外部委託でまとめています。中間報告会においてその内容を見ますと、資料等の作成にあたってはとも都・区寄りの匂いが強く、住民の意見・空気を反映していない点に問題があります。皆様も是非、協議会にご出席頂き、ご意見をどしどし述べられていかげしょうか（協議会は毎月第2水曜日、夜7時から、上北沢まちづくりセンター〈八幡山に近いところ〉地下会議室で行ないます。9月は都合により5日となっています）。

〈街づくり提案〉では、「都市計画道路・補助215号線」の議論を避けている形です。この215号は1966年に都市計画決定したもので（ご存知の方は少ない）、「延焼遮断帯」としての性格を有しています。

前回の協議会は7月11日(水)に、隣の駅である「桜上水駅周辺地区街づくり協議会」と合同で行いました。

「桜上水地区」の対象地区は、桜上水4・5丁目に甲州街道南側の下高井戸地区が加わった範囲です。桜上水は、1966年に上北沢から分かれた地区であるため、区民センター的な公共施設が不足しており、更に、南北交通路が不十分であること等を基本的な問題点として挙げていました。協議会会長の、鈴木さんは、現在は下高井戸にお住まいですが、過去には上北沢にもお住まいであり、両地区に対するご理解は深い印象を持ちました。また、桜上水地区の役員の方々は年齢も若く、この活動に積極的に取り組んでいるように見受けられました。

今後とも互いに協力して「街づくり計画」を進めて行く必要性を認識しました。

協議会の資料は、残念ながら世田谷区では公表していません。杉並区のHPでは公表していますので以下を参考にしてください。

上北沢駅周辺地区：http://www2.city.suginami.tokyo.jp/library/file/kamikitazawa_machi.pdf

桜上水駅周辺地区：http://www2.city.suginami.tokyo.jp/library/file/sakurajousui_machi_honbun.pdf

http://www2.city.suginami.tokyo.jp/library/file/sakurajousui_machi_siryu.pdf

なお、世田谷区では「京王線沿線まちづくり通信」を発行し、区内の京王線各駅の将来計画について紹介しています。

http://www.city.setagaya.tokyo.jp/030/pdf/33959_1.pdf

http://www.city.setagaya.tokyo.jp/030/pdf/24587_1.pdf



平成24年度 会費の状況…今年度も会費・ご寄付をありがとうございました

8月28日現在、個人112人、法人5社、計117人・社の方から合計218,000円をいただいています。

今年度の計画予算には若干不足していますので、さらなるご協力をお願いいたします。

【平成24年度 会費納入者】

[順不同・敬称略]

個人 青木昭一 青木俊江 青木正史 青木昭明 荒井都志子 五十嵐耕平 生田修治 池谷和子 石井昭 石井誠治 出田義明 伊藤佳代 伊藤嗣郎 伊藤万喜子 犬伏瑠璃子 井上雅人 井上慶子 内田正子 海老沢仁子 大澤義正 大島万里子 大橋真理 岡田慎太郎 奥住弘子 乙竹和子 勝村静子 金子紀子 上村米 河原塚晴江 川村澄子 木内二郎 北澤貞子 君島敦子 銀杏陽子 栗原益美 古上和子 小松利一 小松利夫 小松由美子 近藤恭子 齋田泰彦 齋藤靖彦 齋藤富士子 佐藤千枝子 佐藤三鈴 柴田好恵 下田道子 井伊和子 [新樹苑所長] 杉浦弘和 杉浦昌子 杉江靖子 杉山正範 鈴木美千枝 高木加津子 高木健一 高田薫 高田江里 滝沢稔 田中優子 田中由紀子 玉川博記 田村明義 辻和男 土川丈夫 土屋徳之助 寺倉恭尚 富田哲夫 内藤雄一 永井美知子 永井令子 長尾利雄 長峰博明 長峰久美子 中村伊都子 中村正明 中村洋一 難波誠一 新田ノブ子 野口欣一 野口妙子 萩原礼人 橋本喜寿 林昌二郎 原哲也 原由子 東哲也 広澤克実 福永順彦 福永成子 福山浄加 藤井邦宏 藤田則大 藤本彩子 星野慎一郎 星野真理 堀江ミユキ 堀川主計 前田邦子 松井伸崇 宗岡朋子 村上勲 元木秀夫 森田英介 森田実 八木崇 安武緑 山崎曜 山崎耕宇 山室和夫 若竹順 和田和典 法人 (株)アリーナ おがわ整骨院 桂眼科クリニック 上北沢動物病院 (株)川越屋 [浅倉哲三]

上北沢桜並木会議とは？

上北沢駅前の桜並木は、80年余前に開発された住宅地に植えられ、その後、地域のシンボルとして、地元の人々に親しまれながら、近代化の時代の流れの中を生き抜いてきました。

桜並木を中心とした街区は、昭和59年には「せたがや百景」に、平成14年には「世田谷風景づくり条例」に基づく「地域風景資産」に、選ばれています。

桜を大切にすることを種として生まれた、上北沢桜並木会議は、地域のコミュニティとしての役割を果たすことをめざしています。

お問い合わせ：info@sakuranamiki.org

連絡先：石井 昭 TEL:3303-1524

●桜並木会議が行う月例会(第3火曜日18:00～)、事務局会議(第1木曜日9:00～)や行事等に、是非ご参加下さい。会議の場所は上北沢区民センターです。

●桜並木会議の活動状況は、HP (<http://www.sakuranamiki.org/>) に出ていますので、ご覧下さい。



ご近所の方から聞いた《昔話》…『キツネとトロッコ』『日本のハロウィン』

キツネとトロッコ



今の下高井戸の日本大学が建設された遠い昔の事です。少し前まで一面の雑木林だった辺り一帯は、校舎を建てる為に丘が切り崩され、緩やかな斜面に変わっていました。ある日、一人の少年がこの丘に遊びに来ました。工事現場にあったトロッコを緩やかな丘の上まで押して行き、上まで行くとトロッコに飛び乗り斜面を滑り降り、下に着くとまたトロッコを押して丘を登りまた滑り降りる、これを繰り返して遊んでいました。余り遅くなったのでお兄さんが迎えに来てくれました。そして夕日の林を抜けておうちに帰りました。帰ってからお兄さんが言いました。「お前、ぼくが迎えに行った時ずっとキツネと遊んでいたぞ。お前、まさかキツネに化かされたんじゃないだろうね」。

その晩、祈祷師が呼ばれてキツネ憑きを払うおまじないがなされました。でも少年にはキツネに会った記憶なんて全然ありませんでした。

これは桜上水にお住まいの中村さんからうかがったお話です。今聞くと信じられないようなお話ですが、私は本当のお話だと思います。

ついこの間まで、私達はこんなお話が生まれる位自然とすぐお隣で生活していたのです。中村さんのお爺さんが永福町の婚礼に呼ばれ、頂いたご馳走の包みを下げて今の明大前の辺まで帰って来ました。何匹ものキツネが周りをうろつきながらご馳走を欲しがったそうです。世田谷区にはキツネやタヌキやカワウソに恩返ししてもらった人間のお話が幾つも残っています。私達の生活が本当に自然と隣りあわせだった証拠でしょう。



作：石井 昭氏

日本のハロウィン

Halloween



ハロウィンの詳しい由来は知らなくても、カボチャのランタンや箒にまたがった魔女など、[Trick or treat]と云って家々を回るしきたり等はずいぶん知られてきました。

此れと同じような風習が日本にもありました。桜上水にお住まいの馬場さんから伺いました。馬場さんの故郷は山梨県韮崎。十三夜の頃、果物、蒸し栗、焼き栗、ふかしたサツマイモやサトイモが家々に綺麗に盛ってあります。夜の6時～8時頃まで。

子供たちが「上げてくんねー、下げてくんねー」と口々に言いながら家々を回ります。

小さい子供はお芋や栗を貰って布袋やたもとに入れて帰ります。年上のガキ大将は家人の目を盗み、長い竹串に梨やお芋を刺して行きます。こうしてやり取りされる食べ物は全て自宅の畑や周りで取れたものでした。



作：石井 昭氏

※ご近所の方から聞いた昔話…『キツネとトロッコ』『日本のハロウィン』『どんど焼き』をHP (<http://www.sakuranamiki.org/past-present.html>)にも載せています。是非ご覧下さい。

会員のお店紹介

滝沢歯科医院

住 所：世田谷区上北沢4-6-5
TEL 03-3303-1352

アクセス：上北沢駅 北口出口徒歩約4分

診療時間：9:00 ~ 12:00
14:00 ~ 18:00

休 診 日：木曜・土曜日午後
日曜日・祝日



上北沢は、今や美容院と病院の多い街になりました。

その中でも、戦前からあった歯医者さんの滝沢さんは、以前は、お風呂屋さん（北沢湯）の近くにあった事もあり、誰でも知っている歯医者さんでした。

普通なら大仕事になる様な入れ歯の修理でも、器用に何事も無かったように直して貰えるので、気楽に通える事もあって、昔から評判の良い歯医者さんです。しかも、治療室が1階である事から、足の悪い方にも優しい歯医者さんです。

現在は、2代目の歯学博士である大先生と、3代目の若先生が担当されて居ますが、技術だけでなく、人柄も大らかで、無駄な作業も少なく、気持ちの良い歯医者さんです。

何分にも昔から上北沢にお住まいである事から顔も広く、都立桜水商校・松沢幼稚園の校医・園医も勤められました。

大先生のクラスメイトには優秀な方が何人か上北沢にお住まいでもあり、その点でも一目置かれる存在で、古い上北沢の事も良く御存知です。



以前、京王線が出版している小冊子（あいぼりー・1998年8号）の「上北沢」の欄に、患者としての「賀川豊彦師」の事をお書きになっておられた事がありました。



医院の西側に、上北沢4丁目としてはやや広めの南北道路がありますが、ここは以前立派な桜並木でした。並木が無くなって残念ですが、そんな事もあってか、我々の「桜並木会議」が出来て以来、バックアップして戴いております。

